



しづはな農業経済センターだより 静岡市葵区下1459-1 ☎ 294-9330

センター長	茶	蔬菜・草・水稻	果樹	購買	女性部
漆畠	折山・平野	望月星	伊藤	山下・安本・森	市川恵
配送	加藤	昭府地区担当	市川輝	大河内地区担当	川嶋
				梅ヶ島地区担当	望月達

《お知らせ》

肥料・燃料などの資材価格高騰に対する補助事業の紹介

近年、戦争や円安、環境問題などの影響により、肥料や燃料を筆頭に、様々な資材が高騰しています。その対策として、下記の補助事業がありますので、対象となる方は、ご検討ください。
要件等により、対象とならない場合もあります。詳細は、問い合わせ先にてご確認をお願いします。

(国十県)「肥料価格高騰対策事業」秋肥分について

概要…化学肥料低減の取組を行う農業者に、肥料価格上昇分の85%（国70%、県15%）を支援。
※算定の計算式がある為、「価格上昇分×85%」の支援ではありません

対象者…農産物の販売実績がある方で、令和4年6月～10月に高騰した肥料(秋肥分)を購入した方。

※ 詳細・申請受付会の日程については

農協の秋肥の購入者に対して、11月に郵送にてお知らせ致します。

※ 令和4年11月～令和5年5月分(春肥分)についても、年明けに公募の予定があります。

※ 春肥分の申請の場合には、年特の注文数が申請時に必要となります。

事業申請後の年特予約のキャンセルは補助金の返還となりますので注文時ご注意ください。

静岡県支援金「荒茶工場燃油価格高騰対策事業」について

概要…荒茶工場の燃油価格高騰による経費上昇分の一部を助成

対象者…荒茶生産を行う工場の代表者（個人・共同）※対象者には、農協から通知を送っています。

条件…国のセーフティネットに加入している工場と今後、加入の工場が対象となります。

締切…令和4年11月4日（金）

問合せ…JA 静岡市しづはな農業経済センター 054-294-9330

静岡市支援金「農業生産資材高騰緊急対策」について

概要…高騰する生産資材（種苗、肥料、農薬、諸材料、動力光熱費）の経費上昇分の一部を助成

対象者…R3 収支決算書（青色・白色）における農産物販売金額が50万円以上の農業者（法人を含む）

詳細…今月号のオアシス(P.21)に記載がありますのでご確認ください。

問合せ…静岡市農業政策課 054-354-2091

※ 上記の国・県が実施する「肥料価格高騰対策事業」や「燃油価格高騰緊急対策事業（施設園芸・茶）」に申請する場合は、該当する経費（肥料、動力光熱費）について申請できませんのでご注意下さい。

★令和5年度の肥料年間特別予約（年特）推進が始まります★

11月に随時、年特座談会を行っていき、注文書と年特説明書を配らせて頂きます。
予約価格は、当用で購入されるよりもお得ですので、是非、年特をご活用ください。

肥料価格高騰対策事業を活用される場合は、春肥
(1月～5月) 注文分のキャンセルしないよう
ご注意ください（補助金の返金対応となるため）。

注文書は最寄の農協までご提出お願いします。



★令和5年 正月用品ご注文受付が始まります。改めてチラシでご案内いたします★

色々な食材をご用意しました！ お正月用にぜひご注文下さい。
商品受取日は12月27日～30日でお選びいただけます。

お申込み締切日：令和4年11月28日（月）

改めて、チラシでご案内いたします。



茶《防除》

● ハマキムシ類 葉層の中で葉を重ねあって幼虫が越冬します。

《時期》 秋整枝後

《薬剤》 エンセダン乳剤 1,000倍

※ 浸透性がある展着剤を混用すると効果的です。

● 越冬ダニ 今年は発生密度が高いので来年の1茶対策を！

《時期》 カンザワハダニ越冬前 11月中旬（山間地は11月上旬）

《薬剤》 オマイト乳剤 1,500倍

※ ハダニは裾葉で越冬します。防除の際は、噴口の向きを変えるなどして、薬剤が裾葉の葉裏までかかるように丁寧に行ってください。

※ 今年は、比較的気温が高く、ダニが発生しやすい環境でした。多発園では、防除の徹底に心掛け下さい。

● 赤焼病

台風の後など激しい雨と風が起り、葉が擦れることで感染します。

幼木園や例年、春先（3月中旬頃）に発病がみられる園では防除をお願いします。

《時期》 秋整枝の後の10月中下旬に防除を行って下さい。

《薬剤》 ドイツボルドー（500倍）またはカスミンボルドー（1,000倍）

※ マシン油の散布を検討されている場合は、年内に散布すると赤焼病の発生を助長する事例があるので、年明け2月以降の散布をお願いします。

《再整枝（化粧ナラシ）》

《時期》 11月上旬（整枝後から14日後程度）

《深さ》 秋整枝面より深くならないように注意して、遅れ芽や立ち葉を除く程度に行ってください。ゆっくりと丁寧な整枝をお願いします。

《土壤改良》7月下旬に暑くて施用できなかった場合は、冬場に散布

苦土石灰(粒)など 4～5袋

イチゴ

1. 株管理

- ① 摘葉は出蕾時5枚以上になるように実施する。(収穫時期は7~8枚管理とする。)
※2芽になるよう、わき芽を整理する。(ドロ芽は除去する。)
- ② 頂果房の摘果は7~10果を目安。
株出来していない株で出蕾してしまった場合はきつめに摘果する。
- ③ 少量多灌水を基本とする。(給液量は吸水量の1.5倍を目安に)
- ④ 定期的に給液及び排液の確認をしてください。(EC、PH、排液量)

2. ミツバチ管理

- ① 導入のタイミングは1番の出蕾を確認した時点です。
- ② 到着後すぐには解放せず、蜜蜂が落ち着いたら夕方か夜、早朝に開放してください。
※解放までは、網窓にしておき通気性を確保する。
- ③ ミツバチは導入後すぐに訪花せず、2~7日ほど偵察バチがハウス環境を確認してから、働きバチが訪花活動を行います。
- ④ 餌をあげすぎると餌を巣穴にため込みすぎて次の子孫を残せなくなってしまいます。また訪花活動も鈍ります。(納品直後の巣箱の重さが概ね餌の入っている適正重。)
目安(どれどれ): 納品1週間後、その後7~10日間隔で給餌。150~200ml/回施用。
※日中のハウス内気温が18度以下になるハウスは2~3週間に1回。
- ⑤ 厳寒期は毛布などを巣箱にかぶせ保温してあげましょう。
- ⑥ ミツバチの定着が悪い場合は、誘引剤を使いましょう。(ビーセントルアー等)
- ⑦ 雨天が続く場合やハウス内気温が低い(18°C以下)日が続く場合はマルハナバチの導入もお勧めです。

3. 温度管理 基本の温度25°C~27°C(日中)を意識して、管理しましょう。

保温開始目安: 最低気温が10°Cを下回ってから(きらび香の場合は12°Cです。)
→保温開始の目安のため、2番の検鏡を実施しましょう。

4. 病害虫防除 『被害が大きくならない様に、早めの発見と早めの防除を心掛けましょう。』

☆★天敵利用のポイント☆★

- ① ミヤコ、チリの活動温度は12°C以上です。(放飼時のハウス内温度管理に注意しましょう。)
- ② 放飼前にハダニの防除を徹底しておく。(ゼロ放飼をお願いします。)
- ③ 天敵放飼後2週間は薬剤散布を控え、定着を促す。
- ④ 放飼後にハダニが発生した場合は気門封鎖剤をスポット散布しチリの追加放飼も有効です。

注意したい薬剤

※一部抜粋です。この他にもありますので十分に調べてから散布してください。

薬剤名	RAC	収穫前日数	天敵(ミヤコ・チリ)	ミツバチ	マルハナバチ
グレーシア乳剤	30	前日	100日	1日	1日
モスピラン顆粒水溶剤	4A	前日	14日	1日	1~3日
カスケード乳剤	15	前日	ミヤコ(7日)	1~2日	2日
サンマイツフロアブル	21A	3日前	30日	4日	1~4日
ゲッター水和剤	10・1	21日前	14日	1日	1日

水稻

1. 貯蔵時の害虫対策

- (1) ネルパック(真空貯蔵袋)にエージレス(脱酸素剤)を入れて保管する
 - ・ネルパック1袋で玄米30kgを貯蔵できる
 - ・エージレスの効果持続は1年間。別売りなので取り替えて繰り返し使える
- (2) 保管場所にクズ米や又力が落ちていないようにきれいに掃除しておくこと
- (3) 15°C以下で保存すること(害虫が死ぬわけではないが活動を停止する)

※精米機にエージレスと一緒に入れるとお米が黒くなってしまうので注意!



2. スクミリングガイ対策(ジャンボタニシ) 管内でも発生しています!

●冬起こし

収穫後に耕運し、ジャンボタニシを破碎する。また、厳寒期に耕起し越冬中の貝を寒さにさらす。耕運速度は遅く回転数を早くすることで、殺貝効果を上げる



玄米品評会 出品者募集!!

規格: うるち玄米500g(氏名・連絡先・品種名を明記)

提出先: しづはた営農経済センター 締切: 11月10日(木)まで

野菜 ~秋冬アブラナ科野菜~

ヨトウ・コナガは例年10月~11月にかけて発生数が増加します。早期防除を!

しっかり防除し、寒くなる前に作物に力をつけさせてあげましょう。

病害虫	薬剤名	RAC	キャベツ	ハクサイ	ダイコン	ブロッコリー
ヨトウムシ コナガ	アファーム(乳)	6	1,000~2,000倍 前日3回	1,000~2,000倍 7日3回	1,000~2,000倍 7日3回	1,000~2,000倍 3日3回
	カスケード(乳)	15	2,000~4,000倍 7日2回	2,000~4,000倍 7日2回	2,000~4,000倍 14日3回	4,000倍 7日2回
	フェニックス(顆水)	28	2,000~4,000倍 前日3回	2,000~4,000倍 前日3回	2,000~4,000倍 7日2回	2,000~4,000倍 前日2回
	プレバソン(フ)5	28	2,000倍 前日3回	2,000倍 前日3回	2,000倍 前日3回	2,000倍 前日3回
黒腐病 軟腐病	カスミンボルドー	24・M01	1,000倍 7日4回		1,000倍 14日3回	1,000倍 7日4回

野菜・莓土壤診断の実施について

★分析項目 7項目(pH、EC、石灰、苦土、加里、リン酸、腐植)

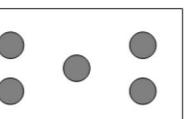
★分析料金 通常1検体1,210円 ⇒ 今回600円 今回申し込み分はJAより半額助成(610円)を実施しますので差額の600円が実質負担額となります(代金は後日、購買代金として引き落します)

★提出締切: 11月8日(火)までに営農センターまでご提出ください。(担当: 望月)

★サンプリング方法

- (1) 圃場内の5ヶ所位から採土し、混合する
- (2) 日陰で新聞紙の上に広げて、よく乾燥させる
- (3) 土塊を碎き、1mm目のふるいにかける
- (4) ふるいにかけた乾いた土250g以上を袋に入れる
- (5) 「住所」・「氏名」・「電話番号」・「作物名」・「施設・露地の別」などを明記して提出する

※右の図のようにそれぞれの場所で表土を外して深さ15cm程度V字型に掘り斜面に沿い2cm採土する



《柑橘》

極早生の出荷もほぼ終了し早生温州の収穫時期が近づいてきました。10月1日時点でのJA静岡市管内の青島温州の平均糖度が8.1度、平均酸度が2.57%と平年と比較し、糖度は平年よりやや低く・酸は高い状況にあります。果実肥大は昨年よりやや大きめですが、2L→L→M中心と良い比率状況にあります。

・柑橘の管理

- ① 樹上選果（青島温州）：粗皮果、大玉果（3L以上）など外観不良果の除去を行う。天成り果は結果枝ごと除去する。（採収まで）
- ② 収穫（早生、青島温州）：収穫前に防腐剤を散布し、早生温州は完全着色で収穫。青島温州では年明け出荷するものは、7分～8分着色で収穫（11月20日頃より）することにより、浮皮果・鳥獣害被害の軽減となります。
- ③ 夏秋梢の処理：結実不良樹の夏秋梢の処理を行う。中晩柑の夏秋梢は、カイヨウ病の感染源となるので必ず処理をする。

・温州みかん防除

防除時期	対象病害虫	農薬名	使用基準
収穫前	貯蔵病害	劇ベフラン液剤25 2,000倍	前日—3回
		ベンレート水和剤 4,000倍	前日—4回

※ダニが発生した場合カネマイトフロアブル1,500倍（7日—1回）で散布する。

※台風の接近が予想される場合には、スルガエレガント・はるみ・ネーブル・レモン・清見はかいよう病の多発が懸念されるので、コサイド3000 2,000倍+バイカルティ1,000倍を予防散布する。早生温州・青島温州では、褐色腐敗病の発生が懸念されますので、ランマンフロアブル2,000倍（前日—3回）を予防散布する。

・秋肥の施用

青島温州・ポンカン	11月上旬	みかん50ペレット	6袋／10a
不知火・はるみ	11月上旬	新FTE S604	2袋／10a

《落葉果樹》

11月中下旬になると、落葉果樹の定植時期となります。（イチジクは、3月定植）

・植付あたり

植付前日までに、植穴に完熟堆肥・苦土セルカ等を投入し、10cm程度の高畝にすることが望ましい。

ハイフミンハイブリットG5kg／穴を投入すると細根の発生促進やモンバ病への効果が得られる。植付時に太根の先端を少し切ることにより、発根促進できる。

・植付時の注意事項

作業中に根を絶対に乾かさないこと。根の間に土をしっかりと入れ、水を十分与える。

深植えにしない。（接木部を出す）植付後、乾燥しないように敷き藁等を行う。

風当たりが強い場所では、支柱に誘引固定する。

枝は、2月中旬に60cm～100cm程度の位置の充実した芽で切返す。

施肥は、枝葉が伸びだしてから分施する。